

一般質問

どげん なったと?!

増大する高齢者医療対策は ジェネリック医薬品の普及をPR

■問

今や国の医療費は、34兆円を超えています。このままでは、増大することはあっても減少することは考えられず、現在国民一人当たり27万2600円かかっている医療費、また54・6%を占めている高齢者への対策が大きな課題となつてきています。

以前から質問をしてきていたジェネリック医薬品の使用促進を今一度強く推し進めていくことも必要かと思うが。

■答 中嶋町長

本町や県では、ジェネリック医薬品の使用頻度を上げようと、国保連合会のシステムを改修したり、医療費の請求にあわせて普及PRを行っています。

参考までに、21年度の医療費の実績において、本町の総医療費が22億8875万円、そのうち調剤が3億1852万9000円となっており、率にして13・9%が調剤の占める割合となつています。



荒木 敏光 議員

ジェネリック医薬品の使用促進については、処方箋の様式を変えたり、

調剤率30%以上の場合は点数を4点加算する等、国や県の段階でもいろいろ動きがあるようです。



ジェネリック医薬品お願いカード

議*長*通*信



藤石 豊 議長

寒気宿る厳冬

春寒の候、例年になく雨や雪が続く、肌寒い今日このごろ・・・

町民の皆様におかれましては、兎年の新春をいかがお過ごしでしょうか。

ウサギがびよんびよんと飛び跳ねるような躍進の年にと願っています。

しかし、昨年夏の酷暑から残暑、秋を飛び越え

一転して厳しい冬が、いつまで続くかの如く、「いまだ遠き春の足音聞こえず」に例えられます。先の見えない我が国の政

積極的な 地域活性化

一方、地方においても深刻な財政問題を抱える自治体は、少なくありません。

昨年末の首長アンケートでは、「現在、厳しい財政状況である」と「今後が心配」合わせて77%が将来の財政見通しに不安と答えています。

須恵町でも、これまで健全財政を維持してきましたが、交付税の削減等地方への負担が懸念されています。

独自の財源確保、地域活性化のあり方や方策が

必要だと思っています。

新しい積極的な発想が求められ、議会としても不転の決意で望む所存です。

町民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

統一地方選挙の年

さて、今年は4年に一度の統一地方選挙の年です。

須恵町においても、4月10日が県知事と県議会議員、24日が町議会議員の選挙があります。

日本国民には20歳になれば選挙権が与えられて

すえち未来ち



シリーズ

議会用語

「議員定数」とは？

議員の定数は、法において人口規模に応じて、その数（法定数）が定められています。また、条例でこれを減員することができるとされています。

須恵町の議員定数は、法による定数は26名ですが、「須恵町議会議員の定数を定める条例」により減員され、現在14名となっています。

イラストレーター・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ
<http://www.wooco.net/>